

# サノタン版避難所開設マニュアル とHUGの検討

佐野日本大学短期大学防災チーム

代表 小竹仁美

発表者 折笠菜々

青木 麗



# 発表の流れ

- ▶ ①避難所開設マニュアルについて  
経緯  
実施内容  
サノタンの特性を生かした避難所づくり  
来年度の目標
- ▶ ②HUG  
作成の目的  
作成の過程  
来年度の目標
- ▶ ③まとめ



## ① マニュアル

### 避難所運営マニュアル作成経緯

- ▶ 令和元年東日本台風を経験し、  
本学の防災について興味を持った。
- ▶ 本学が二次避難所であることを知ったが、  
明確なマニュアルがなかった。



## ① マニュアル 実施内容

- ▶ 佐野市危機管理課避難所開設担当者の講義受講と避難所備品の設営体験
- ▶ 佐野市災害ボランティアセンター運営担当者の講義受講
- ▶ 使用できる教室・設備の検討と確認
- ▶ 学内の使用教室の計測
- ▶ 避難者受け入れの動線の確保
- ▶ 受付の設置場所の決定
- ▶ 避難利用者登録票の作成
- ▶ 使用教室のルール作り



## ①マニュアル

### 来年度の目標

- ▶ マニュアルを活用した避難訓練の実施
- ▶ マニュアルの検証、再検討
- ▶ FMBの作成と避難所開設マニュアルとの連携を検討する
- ▶ 各フィールドが特性を生かす避難所運営を目指す

## サノタン版HUG作成の目的

- ▶ 簡易的に実践的な避難所運営を体験できるため
- ▶ 令和元年東日本台風の時系列に沿ったHUGを作成し、教職員・学生の研修に利用するため
- ▶ 防災教育を学校全体で取り組むため



## ②HUG

### サノタンHUG作成過程

- ▶ 令和元年東日本台風の時系列の被害状況・警報などを調べる
- ▶ 実際に「避難所HUG 風水害バージョン」を体験
- ▶ 栃木県の特産物・地名等を調べ、イベントカードや避難者の名称などに使用
- ▶ 水害時に避難所で発生し得る出来事を考える
- ▶ 令和元年東日本台風の時系列に合わせる



## ②HUG

### 今後の目標

- ▶ HUGのカード試作
- ▶ HUG試作版の実施
- ▶ 検証・改善
- ▶ 完全版の作成



### ③終わりに

- ▶ コロナ禍により予定していた活動ができなかった
- ▶ HUGやマニュアル検討により防災意識が高まった
- ▶ 来年度は、佐野市の土砂災害訓練、栃木県の防災訓練に参加し、ボランティアやブース展示を行う

